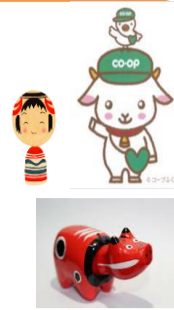


アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対



署名(オンライン&署名用紙) 推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2022/2/9

No. 27

賛同署名総数は	2/8まで	162,983	筆 筆 筆
*オンライン署名		5,844	
*署名用紙署名		157,139	

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>

みやぎ生協・コープふくしまは
東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水の
海洋放出に反対です。反対署名運動へのご協力をお願いします。



オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。
★オンライン署名と併せ署名用紙での署名も行っています。
HPまたは事務局へお問い合わせをお願いします。



スマホはこちらから

【協力団体インタビュー】

ふくしま復興共同センター代表委員 福島県労連 斎藤富春 議長に伺いました。



福島県労連 福島県労働組合総連合

Q1、ALPS処理水海洋放出決定の発表を受けて

2018年に参加した「多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会」の公聴会では海洋放出に反対する声が大きく、タンクでの陸上保管について意見交換が行われました。その時に政府・東電は「地上保管について検討する」と回答していたので、海洋放出の発表には愕然としました。
《経緯を知っていると一層、海洋放出方針発表には腹立たしさ、やるせなさが募りますね...》

Q2、4団体による「ALPS処理水海洋放出に反対する署名」開始を聞いた時の心境は

我々も横のつながりを生かして活動しており、2020年から署名にも取り組んでいました。4団体による署名呼びかけは我々の活動の延長線上にあり、とてもタイムリーだと感じました。これまでの署名もありますいろいろな団体があるので、4団体の署名に一本化しようと決めて取り組みを開始しました。
《おかげさまで様々な団体からお力添えいただきありがとうございます》



斎藤富春 議長

Q3、署名推進に向け工夫した点は

ネット署名は若い人は参加しやすいが、不得手な人もいるので地道に用紙での署名活動を進めました。署名を推進するうえでは学習が大事で、政府・東電の主張と我々の主張の違いを知ってもらうために学習の場を提供することが必要だと感じています。



Q4、署名運動に対する世間の風向きについて

総選挙選挙前に福島民報が行ったアンケートによると、県民が求める復興政策ベスト3は風評対策、トリチウム処理水、県民健康管理でした。風評対策とトリチウム処理水問題は切り離すことのできない問題ですので、県民の当面の課題は処理水問題ということだと思います。海洋放出に対する賛成・反対の意見は拮抗していて、反対42%、賛成40%です。年代別に見ると反対は50代以上が多く、賛成は40代以下に多くなっています。このことから10代~40代への働きかけが重要であり、政府・東電発表の一方的な情報しかない若者たちにどのように伝えるか工夫が必要だと感じています。

ふくしま復興共同センター @fukushima_f_k_c · 2021年8月11日
#ALPS処理水海洋放出反対
今日で、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から10年5か月。昼休みに、みやぎ生協・コープふくしま等がよびかけている「ALPS処理水の海洋放出に反対する署名」への協力をおねがいしました。漁民、県民の10年間の努力を水泡に帰す海洋放出は認められません。



Q5、ALPS処理水海洋放出を実施させないために国民ができることは

50代以上の人は政府・東電の姿勢を間近で見ただけに、より憤りを感じているのだと思います。県民の声を聞かない姿勢が問題です。7割を超える自治体が反対を表明しており、政府が自ら約束した「関係者の理解なしにはいかなる処分も行いません」という内容を反故にしていることは二重に国民を愚弄しています。民主主義の問題として重要であり、地方自治をないがしろにしています。海洋放出方針を撤回させるためには政治が関わってきます。参議院選挙の争点になるように県民世論を高め、政治を変える大きな力にする必要があります。

Q6、みなさまへのメッセージ

コロナ下で全国に発信しづらい状況にありますが、東日本大震災・原発事故を風化させないためにも、福島の実情をリアルに伝えることが大切だと感じています。現地を見に来てもらうことが一番ですので、コロナウィルスが落ち着いたらぜひ福島に足を運んでもらいたいです。
海洋放出までまだ時間はあります。諦めずに頑張りましょう！

◇斎藤議長ありがとうございました。

2011年に福島復興共同センターを立ち上げ、福島のため、県民のために尽力されてきた斎藤議長。いろいろな団体と手を携えながら活動してきた実績に裏打ちされたお話はうなずくことばかりでした。他団体との連携、全国との繋がり、とても元気の出るお話をお聞かせいただきありがとうございました。終始穏やかにお話くださり、誠実で温厚なお人柄がにじみ出ておりました。



◆宮城一般労働組合みやぎ生協支部 福島書記局

書記次長 稲村和吉さんから一言いただきました。
労働組合のつながりは全国の生協とあるので、力をあわせ頑張っていきたいと思っております。4月には全国の仲間に福島を見ていただく「福島訪問」企画を計画しています！



稲村さん

<編集後記>erikoのつぶやき

お赤飯、甘いのしょっぱいの、あなたはどっち派？ハレの日メニューの代名詞「お赤飯」。北海道では甘納豆で作る文化があるそうです。札幌出身の友人に教えてもらって以来、甘納豆で作るお赤飯が大好き物の編集者。初めて聞いた時は甘納豆ごはん!?と思いましたが、試してみたらすっぱり虜。
定期的に食べたくなるので常にハレの日気分な食卓です。もち米とうるち米を炊いて小豆の甘納豆を混ぜるだけ。小豆を炊き込まないため食紅で色付けするそうですが、編集者は黒米と一緒に炊いてほんのり色付けするのがお気に入りです。黒米のぷちぷち食感と甘納豆のほのかな甘みがなんとも幸せな一品。
※甘納豆は砂糖を洗い落として使用します。



<情報・お問い合わせ先>

みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部内
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F
TEL024-557-1181 FAX557-5359 * mail :sn.f10243sn@todock.coop (根本)